

会報

通常総会議事報告

一般社団法人溶接学会 第84回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成28年4月13日(水)10:15～11:45

場所 アジア太平洋トレードセンター O's 南6階 コンベンションルームI 大阪市住之江区南港北2-1-10

平成27年度事業報告

(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)

平成27年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第4条1項)

1.1 春季全国大会

平成27年4月22日～24日 : 学術総合センター (東京)
研究発表講演 (88件), 特別講演 (1件), シンポジウム (講演6件), フォーラム (講演7件)
参加者 延約 1,000名

1.2 秋季全国大会

平成27年9月2日～4日: 北海道科学大学 (札幌市)
研究発表講演 (216件), ポスター発表 (54件), 特別講演 (1件), 論文賞受賞講演 (2件), フォーラム (講演6件), ワークショップ (講演3件), 技術セッション (講演4件)
参加者 延約 1,500名

2. 講習会 (定款第4条1項)

2.1 平成27年度溶接入門講座 (第46回)

会期 平成27年6月2日, 3日
会場 フォーラムミカサ エコ (東京)
受講者 38名
平成27年度溶接入門講座 (広島開催) (第47回)
会期 平成27年11月12日, 13日
会場 県立広島大学サテライトキャンパスひろしま (広島)
受講者 37名

2.2 平成27年度溶接工学夏季大学 (第63回)「中堅技術者講座」

会期 平成27年7月29日～7月31日
会場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール
受講者 51名

2.3 平成27年度溶接工学専門講座 (第2回)

高エネルギービーム加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催
「ものづくり力伝承講座 ～レーザ溶接のすべてを知る～」
会期 平成27年10月29日
会場 フォーラムミカサ エコ (東京)
受講者 34名

2.4 溶接部の腐食防食トラブル防止事例講習会 (第1回)

溶接学会「溶接冶金研究委員会」と腐食防食学会「プラント構成材料溶接部の腐食分科会」の共同開催
会期 平成27年11月9日
会場 溶接会館 (東京)
受講者 74名

3. 刊行 (定款第4条3項)

3.1 溶接学会誌84巻2号～85巻1号 (8冊)

主な内容 特集, 展望, レビュー&トレンド, 溶接接合教室, 実験指南, 他

3.2 溶接学会論文集33巻2号～34巻1号 (4冊) (WEB)

主な内容 研究論文33篇

3.3 全国大会講演概要集 第96集および第97集 (2冊)

3.4 平成27年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

4. 研究活動 (定款第4条1項)

4.1 研究推進部会 (篠崎賢二部会長)

2回の会合を開催し, 各研究委員会の活動状況の把握及び調整, 特別研究会・アドホック研究会・ミニ研究会の活性化, 全国大会運営の活性化, 専門教育講座計画, 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) への協力, 若手グローバルネットワーク委員会活動などについて検討した。

(1) 春季全国大会においてフォーラム「溶接・接合プロセスの先進可視化・シミュレーション技術 一時代を拓くデジタル技術の最前線」を開催した。

(2) 秋季全国大会においてフォーラム「溶接部の腐食現象を考える」を開催した。

(3) 溶接冶金研究委員会が中心となり, 腐食防食協会との研究交流を継続実施した。平成27年11月9日, 「溶接部の腐食トラブル防止事例講習会」を腐食防食学会と共同開催した。

(4) 高エネルギービーム加工研究委員会が企画し, 溶接工学専門講座「ものづくり力伝承講座 ～レーザ溶接のすべてを知る～」を開催した。

(5) 特別研究会「異材接合 3D プリンタ」(桐原聡秀主査)
平成26年度より活動を開始した。平成27年度も継続して当該分野に関する講演会などを大阪大学接合科学研究所の研究集会と合同で企画, 開催した。

(6) アドホック研究会「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」(村川英一主査)

平成27年度から活動を開始し, 多層溶接継手の溶接実験および各種溶接シミュレーションソフトを使用したシミュレーションを実施しシミュレーションによる予測精度の検証と分析を行った。

(7) アドホック研究会「先進観察技術活用研究会」(寺崎秀紀主査)
平成27年度から大学, 量子ビーム施設関係者, 企業所属の委員参加の下に活動を開始し, 協賛勉強会「金属材料評価研究会」を実施した。

(8) ミニ研究会「アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象」(藤井啓道主査)
平成27年度から活動を開始し, キックオフミーティング開催とともに, アルミニウム合金の超音波接合試験結果に関する討論, 情報交換などを行った。

(9) 全国大会運営委員会より, オーガナイズドセッション開設に向けて, テーマ選定に各研究委員会が協力する案が提出され, 理事会に上申, 承認され, 平成27年度秋季全国大会からオーガナイズドセッションが開設された。

(10) SIP「溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発」拠点に関して, SIP溶接拠点分科会を設置し, 各研究委員会から委員を募ることが提案され, 承認された。

(11) 溶接学会将来ビジョンWGから研究推進部会に常設研究委員会活性化のための提言がなされ, これを受け, 各研究委員会に対して委員会の現状の問題点, 今後の活動方針・研究拡大分野などについてアンケート調査を行った。

(12) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会（山本元道 主査）

平成27年9月2日（火）～3日（水）に北海道にて開催された第5回日中韓ジョイントシンポジウム（5th EAST-WJ）への講演者の推薦およびシンポジウム終了後の交流会を開催した。若手会員の会の協力を仰ぎ、小椋 智 氏（大阪大学）、荻野 陽輔 氏（大阪大学）、松本 直幸 氏（IHI）の3名を若手講演者として推薦した。またシンポジウム終了後の交流会では、各国の参加者がテーブルを共にして議論を深め、より深い交流・ネットワーク形成を図ることができた。日本での若手研究者による研究情報を発信するとともに、他国の若手研究者・技術者との交流を深め、グローバルネットワーク形成に資する活動を行うことができた。詳細は学会誌85巻2号じょうほう通ページに掲載予定である。なお、「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会では、平成27年度をもって廃止され、その業務内容の全ては、若手会員の会に引き継がれることとなった。

4.2 溶接構造研究委員会（村川英一委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第208回	27.3.6	大阪	27	研究報告 6件 日本船舶海洋工学会 材料・溶接研究会と合同
第209回	27.6.15	東京	31	JIW 第10委員会とJWES 鉄鋼部会 FTE 委員会と合同
第210回	27.7.31	大阪	20	研究報告 4件
第211回	27.11.9	広島	24	研究報告 2件 見学会
第212回	28.2.24	大阪	56	研究報告 6件 故 寺崎俊夫先生記念講演会

4.3 溶接法研究委員会（平田好則委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第230回	27.5.15	東京	45	研究報告 5件
第231回	27.8.4	大阪	53	研究報告 5件
第232回	27.10.6～7	富山	33, 29	研究報告 5件 見学会
第233回	28.1.26～27	東京	48, 61	研究報告 12件

4.4 溶接冶金研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第219回	27.5.22	東京	27	研究報告 6件
第220回	27.9.11	大阪	25	研究報告 6件
第221回	27.10.26～27	愛知	25, 23	研究報告 4件 見学会
講習会	27.11.9	東京	74	溶接部の腐食トラブル防止事例講習会 （腐食防食学会と合同開催）
第222回	28.1.26～27	東京	48, 61	研究報告 12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（大沢直樹委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第245回	27.4.8	東京	23	研究報告 4件
第246回	27.6.10	東京	22	研究報告 3件
第247回	27.11.4	愛媛	15	見学会
第248回	28.1.15	東京	22	研究報告 4件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（片山聖二委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第79回	27.5.12	東京	28	研究報告 6件
第80回	27.10.6	千葉	16	研究報告 2件 見学会
第81回	28.1.26	大阪	28	研究報告 5件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（及川初彦委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第109回	27.6.9	東京	30	研究報告 5件
第110回	27.9.11	大阪	26	研究報告 5件
第111回	27.11.24	愛知	33	研究報告 5件 見学会
第112回	28.1.19	東京	28	研究報告 6件

4.8 マイクロ接合研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第110回	27.6.5	東京	37	研究報告 8件
第111回	27.9.9	大阪	28	研究報告 6件
第112回	27.11.13	東京	31	研究報告 6件
シンポジウム	28.2.2～3	横浜	544	Mate2016 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（高橋康夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第99回	27.6.4	東京	29	研究報告 5件
第100回	27.10.30	東京	31	研究報告 6件 日本溶接協会先端材料接合委員会と合同
第101回	28.1.22	東京	25	研究報告 6件

5. 国内活動（定款4条項4）

5.1 日本溶接会議（JIW）の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他（承認順）

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、軽金属溶接協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：（公社）日本材料学会「腐食防食部門委員会第303回例会」（H27.3.12）
- (2) 協賛：（一社）日本鉄鋼協会「第221・222回西山記念技術講座」（H27.6.10,17）
- (3) 協賛：レーザー加工学会「第83回レーザー加工学会講演会」（H27.6.11-12）
- (4) 協賛：（一社）強化プラスチック協会「協会創立60周年記念特別事業」（H27.10.15-16）
- (5) 後援：（一財）燕三条地場産業振興センター「燕三条ものづくりメッセ2015」（H27.10.29-30）
- (6) 協賛：（一社）軽金属学会「第32回軽金属セミナー」（H27.7.17）
- (7) 協賛：（一社）軽金属学会「第33回軽金属セミナー」（H27.7.21）
- (8) 協賛：（一社）軽金属学会「第94回シンポジウム 次世代自動車の車体軽量化における材料・加工技術」（H27.6.5）
- (9) 協賛：（一社）軽金属学会「第95回シンポジウム 電子顕微鏡による材料研究（Ⅱ）」（H27.7.3）
- (10) 協賛：ICRP-9/SPP-33 組織委員会「ICRP-9/SPP-33 国際会議」（H27.10.12-16）
- (11) 協賛：（一社）日本機械学会「第14回リーダーを目指す技術者倫理セミナー」（H27.5.16）
- (12) 協賛：（公社）日本材料学会「腐食防食部門委員会第304回例会」（H27.5.12）
- (13) 協賛：（一社）日本計算工学会「第20回計算工学講演会」（H27.6.8-10）
- (14) 協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会関西支部「関西ワークショップ2015」（H27.6.18-19）
- (15) 後援：（一社）日本機械学会「第8回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム」（H27.10.14-15）
- (16) 協賛：（一社）日本塑性加工学会「第66回塑性加工連合講演会」（H27.10.29-31）
- (17) 協賛：（公社）日本材料学会「第14回機械・構造物の強度設計、安全性評価に関するシンポジウム」（H27.10.17）
- (18) 協賛：日本海洋工学会「第25回海洋工学シンポジウム」（H27.8.6-7）
- (19) 協賛：（公社）日本材料学会「第45回初心者のための有限要素法講習会」（H27.8.19-20, 9.2-3）
- (20) 後援：（一社）日本溶接協会「原子力発電所における設計超過事象を考慮した構造評価技術シンポジウム」（H27.6.30）
- (21) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「圧力設備の材料、設計、施工、維持管理の基礎セミナー」（H27.7.9-10）
- (22) 協賛：（公社）自動車技術会「第13回全日本学生フォーミュラ大会」（H27.9.1-5）
- (23) 協賛：（公社）腐食防食学会「第67回技術セミナー」（H27.7.16）
- (24) 協賛：（公社）日本材料学会「第17回破壊力学シンポジウム」（H27.10.13-14）
- (25) 協賛：日本保全学会「第12回学術講演会」（H27.7.13-15）
- (26) 協賛：（公社）日本ガスタービン学会「第43回日本ガスタービン学会定期講演会」（H27.9.9-10）
- (27) 協賛：（一社）日本能率協会「メンテナンス・レジリエンス TOKYO2015」（H27.6.30）
- (28) 共賛：日本学術会議・（一社）日本原子力学会「原子力総合シンポジウム2015」（H27.7.16）
- (29) 後援：（公財）神奈川科学技術アカデミー「基礎から考えるプレス成形加工」（H27.10.22-23）
- (30) 後援：（公財）神奈川科学技術アカデミー「塑性力学の基礎」（H27.10.2,8,9）
- (31) 協賛：（一社）日本機械学会「第25回設計工学・システム部門講演会」（H27.9.23-25）
- (32) 後援：（公財）溶接接合工学振興会「特別講演」（H27.5.19）
- (33) 協賛：（一社）日本溶接協会・産報出版㈱「2016国際ウェルディングショー」（H28.4.13-16）
- (34) 協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第20回アコースティック・エミッション総合コンファレンス」（H27.11.19-20）
- (35) 協賛：（公社）腐食防食学会「第42回コロージョン・セミナー」（H27.7.8-10）
- (36) 協賛：（公社）日本材料学会「腐食防食部門委員会 第305・306回例会」（H27.7.29）
- (37) 協賛：（一社）日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会」（H27.8.28）
- (38) 後援：（一社）日本溶接協会「デジタルラジオグラフィティに関する技術講習会」（H27.8.20-21）
- (39) 協賛：（一社）軽金属学会「第129回秋期大会」（H27.11.21-22）
- (40) 協賛：（一社）軽金属溶接協会「アルミニウムろう付技術基礎講習会」（H27.11.6）
- (41) 協賛：（公社）腐食防食学会「第68回技術セミナー」（H27.10.6）
- (42) 協賛：（一社）日本鉄鋼協会「第223・224回西山記念技術講座」（H27.10.14,21）
- (43) 協賛：（一社）日本鉄鋼協会「第67回白石記念講座」（H27.11.13）
- (44) 協賛：（一社）日本機械学会「もう一度学ぶ機械材料学」（H27.11.15-16）
- (45) 協賛：（一社）レーザー加工学会「第84回レーザー加工学会講演会」（H28.1.19-20）
- (46) 協賛：（一社）日本機械学会「機械の日・機械週間」（H27.8.7）
- (47) 協賛：（公社）日本材料学会「第24回・第25回初心者のための疲労設計講習会」（H27.8.31-9.1,10.14-15）

- (48)協賛：（一社）軽金属学会「平成27年度軽金属基礎技術講座」(H27.9.10-11)
- (49)協賛：（公社）日本材料学会「2015年度JCOM 若手シンポジウム」(H27.9.26-27)
- (50)協賛：（公社）腐食防食学会「第183回腐食防食シンポジウム」(H27.9.28)
- (51)協賛：（公社）日本材料学会「第1回材料WEEK」(H27.10.13-17)
- (52)協賛：（一社）日本機械学会「第23回機械材料・材料加工技術講演会」(H27.11.13-15)
- (53)協賛：（公社）日本材料学会「第53回高温強度シンポジウム」(H27.12.10-11)
- (54)協賛：（公社）日本材料学会「第5回フラクトグラフィ講習会」(H27.12.1-2)
- (55)協賛：（一社）日本機械学会「第1回日本機械学会イノベーション講演会」(H27.11.13-15)
- (56)協賛：（公社）日本材料学会「第12回ノートパソコンでできる原子レベルのシミュレーション入門講習会」(H27.12.14-15)
- (57)後援：（一社）日本溶接協会「ステンレス鋼およびニッケル合金の溶接性と施工の実際」(H27.10.9)
- (58)協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会「MES2015 第25回マイクロエレクトロニクスシンポジウム」(H27.9.3-4)
- (59)協賛：（公社）腐食防食学会「第62回材料と環境討論会」(H27.11.4-6)
- (60)協賛：（公社）腐食防食学会「第41回腐食防食入門講習会」(H27.11.19)
- (61)後援：（一社）日本溶接協会「原子力プラント機器の健全性評価に関する講習会」(H27.12.10-11)
- (62)後援：（公財）神奈川科学技術アカデミー「平成27年度 KASK 教育講座」(H27.11.17, 25)
- (63)協賛：（公社）日本材料学会「腐食防食部門委員会第307回例会」(H27.11.25)
- (64)協賛：（公社）自動車技術会「車両信頼性を担う疲労評価技術の新展開シンポジウム」(H27.11.27)
- (65)協賛：（公社）日本金属学会「第9回太平洋先端材料とプロセス国際会議」(H28.8.1-5)
- (66)協賛：（公社）日本材料学会「第35回疲労講座」(H27.11.30)
- (67)協賛：（一社）軽金属学会「第96回シンポジウム 鉄道車両軽量化技術」(H27.11.6)
- (68)協賛：（一社）軽金属学会「第97回シンポジウム アルミニウム溶解炉における複合酸化物の異常生成」(H27.12.14)
- (69)協賛：（一社）日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2015」(H27.11.18-20)
- (70)後援：（公財）溶接接合工学振興会「第26回セミナー」(H27.10.20)
- (71)協賛：（公社）日本材料学会「第52回 X線材料強度に関する討論会」(H27.12.4)
- (72)協賛：（一社）日本高圧力技術協会「安全係数 3.5 の圧力設備の規格と建設の最前線」(H28.1.21)
- (73)協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会関西支部「第22回エレクトロニクス実装学会関西支部若手研究会セミナー」(H27.11.25)
- (74)協賛：（公社）日本ガスタービン学会「第44回ガスタービンセミナー」(H28.1.21-22)
- (75)協賛：（一社）日本塑性加工学会「平成28年度塑性加工春季講演会」(H28.5.20-22)
- (76)協賛：（一社）日本機械学会「第15回リーダーを目指す技術者倫理セミナー」(H27.11.21)
- (77)協賛：（公社）日本材料学会「第7回日本複合材料会議」(H28.3.16-18)
- (78)協賛：（一社）日本高圧力技術協会「第16回エネルギー貯槽セミナー」(H28.2.10)
- (79)協賛：（公社）日本材料学会「第2回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー」(H27.12.10)
- (80)後援：（一社）日本溶接協会「第17回溶接の研究 講習会」(H27.12.7)
- (81)協賛：Spring-8 利用推進協議会「第11回 Spring-8 金属材料評価研究会-溶接部等の最近の注目技術-」(H28.2.1)
- (82)協賛：（一財）神戸国際観光コンベンション協会「Techno-Ocean2016」(H28.10.6-8)
- (83)協賛：（公社）日本材料学会「第20回 X線材料強度に関するシンポジウム」(H28.7.21-22)
- (84)協賛：（公社）日本材料学会「マルチスケール材料力学シンポジウム」(H28.5.27)
- (85)協賛：大阪大学接合科学研究所「大阪大学接合科学研究所 東京セミナー」(H27.12.10)
- (86)協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第23回超音波による非破壊評価シンポジウム」(H28.1.28-29)
- (87)協賛：（一社）日本溶接協会「WES 2820 圧力設備の供用適正評価方法-減肉評価」(H28.1.26)
- (88)協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第47回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H28.1.9)
- (89)協賛：（公社）腐食防食学会「第184回腐食防食シンポジウム」(H28.2.4)
- (90)協賛：（一社）軽金属学会「第32回軽金属セミナー」(H28.2.19)
- (91)協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第10回放射線による非破壊評価シンポジウム」(H28.2.4-5)
- (92)協賛：早稲田大学各務記念材料技術研究所「材料技術研究所教育プログラム」(H28.1.29)
- (93)協賛：（一社）軽金属学会「第33回軽金属セミナー」(H28.3.8)
- (94)協賛：（一社）日本溶接協会「LPM シンポジウム-最新のレーザ加工技術と自動車車体への応用」(H28.2.8-9)
- (95)協賛：（一社）軽金属学会「第130回春期大会」(H28.5.27-29)
- (96)共催：大阪大学接合科学研究所「VisualJW2016」(H28.10.17-18)
- (97)共催：エコデザイン学会連合「エコデザイン・プロダクト&サービスシンポジウム2016」(H28.12.7)
- (98)協賛：（一社）日本非破壊検査協会「安全・安心な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム」(H28.3.17-18)
- (99)協賛：（一社）日本非破壊検査協会「表面探傷技術における現場と研究の融合シンポジウム」(H28.3.17-18)
- (100)協賛：（一社）日本接着学会「第54回年次大会」(H28.6.16-18)
- (101)協賛：（一社）日本高圧力技術協会「信頼性に基づく圧力設備の減肉評価方法の概要とその利用」(H28.3.15-16)
- (102)協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会「2016 International Conference in

Electronics Packaging」(H28.4.20-22)

- (103)協賛：（一社）日本機械学会「もう一度学ぶ機械材料学」(H28.3.3-4)
- (104)協賛：（一社）日本保全学会「第16回保全セミナー」(H28.2.22)
- (105)協賛：（公社）日本材料学会「腐食防食部門委員会第309回例会」(H28.3.4)
- (106)協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会「技術運営委員会講演会」(H28.2.18-19)
- (107)協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会「第30回エレクトロニクス実装学会春季講演大会」(H28.3.22-24)
- (108)協賛：（公社）腐食防食学会「第69回技術セミナー」(H28.5.12)
- (109)協賛：（一社）日本鉄鋼協会「相界面科学を視点とした材料と微生物の相互作用シンポジウム」(H28.3.24)
- (110)協賛：（公社）自動車技術会「第14回全日本学生フォーミュラ大会」(H28.9.6-10)
- (111)協賛：（一社）日本計算工学会「第21回計算工学講演会」(H28.5.31-6.2)
- (112)協賛：（一社）日本原子力学会「原子力総合シンポジウム2016」(H28.3.16)

5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本鋼構造協会	J S S C
軽金属溶接協会	金属溶接	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
高圧ガス保安協会	高圧ガス	〃	ふえらむ
電気学会	電気学会誌	〃	ISIJ International
土木学会	土木学会誌	日本溶射協会	溶射
日本機械学会	日本機械学会誌	日本溶接協会	溶接技術
日本金属学会	まてりあ	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌 KANRIN (咸臨)
日本建築学会	建築雑誌	日本接着学会	日本接着学会誌

6. 国際活動（定款4条項4）

6.1 国際溶接学会（IIW）関連

日本溶接会議（JIW）の活動を通じて、国際溶接学会（IIW）の活動および第68回年次大会（フィンランド・ヘルシンキ、6月28日～7月3日、参加者は54カ国885名）に参加した。主催者発表によれば、日本からの参加者は98名で、ドイツ（115名）に次いで2番目であった。

6.2 第5回日中韓ジョイントシンポジウム（EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining）を秋季全国大会期間中の平成27年9月2日～3日に北海道科学大学で開催した。

6.3 国際会議「10th International Conference on Trends in Welding Research & 9WS」をAWS（American Welding Society）と平成28年10月11～14日、一橋講堂（東京）にて共同開催することとなり、実行委員会を発足し、鋭意準備を進めた。

6.4 アジア溶接連盟（AWF）関連の活動に参加した。

6.5 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Journal	オーストラリア
2 Schweiss- & Pruftechnik	オーストリア
3 Soldagem & Inspecao	ブラジル
4 Welding and Cutting	ドイツ
5 Hitsaus Tekniikka	フィンランド
6 Rivista Italiana della Salddatura	イタリア
7 大韓金属学会誌（Journal of KMM）韓国	
8 大韓溶接学会誌	〃
9 Lasteniek	オランダ
10 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
11 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
12 Welding & Material Testing	ルーマニア
13 Sudura	〃
14 Revista de Metalurgia	スペイン
15 Svetsaren	スウェーデン
16 Welding International	英国
17 Connect	〃
18 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
19 Zavaranie svarovani	スロバキア
20 地質学報	中国
21 金属学報	〃
22 鋼鉄	〃
23 冶金分析	〃
24 China Welding	〃

Ⅱ 会 務 報 告

1. 第83回通常総会

日 時 平成27年4月23日（木）
開会 午前10時00分 閉会 午前11時20分
場 所 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1
学術総合センター 一橋記念講堂

議決権を有する者：代議員 95名

出 席 27名
委任状 46名
合 計 73名（総数95名）

議 事

- | | |
|----------------|-------|
| ① 平成26年度事業報告の件 | 承認 |
| ② 平成26年度決算報告の件 | 承認 |
| ③ 監査報告 | 承認 |
| ④ 平成27年度事業計画の件 | 報告 |
| ⑤ 平成27年度予算の件 | 報告 |
| ⑥ 名誉員の推薦 | |
| ・中込忠男 | ・中西保正 |
| ⑦ 特別員の推薦 | |
| ・阿部信行 | ・近藤正恒 |
| ・平岡和雄 | ・松井仁志 |
| ・里中 忍 | ・中田一博 |
| ・三田常夫 | ・山本正登 |

⑧ 表彰の件

溶接学会業績賞

・西尾一政

佐々木賞

・野瀬哲郎

溶接学会論文賞並びに論文奨励賞

溶接学会論文賞

・鈴木励一、菅 哲男、河西 龍、中込忠男

・森貞好昭、今泉拓也、藤井英俊

溶接学会論文奨励賞

・山崎洋輔

・谷口公一

溶接学術振興賞

・加藤数良（東部支部長推薦）

・南二三吉（関西支部長推薦）

・秋山哲也（九州支部長推薦）

妹島賞

・丸山徳治、樋田幸雄、佐藤正晴

溶接学会ベストオーサー賞

・北岡康夫

・京極秀樹

・亀山雅司

溶接学会技術貢献賞

・小川剛史

溶接技術奨励賞

北海道支部：三浦展義

東北支部：千代窪 毅

東部支部：金子裕良、武市祥司、山下 賢

東海支部：佐藤広明

関西支部：葛西省五、高祖正志、横野泰和

中国支部：銭谷 哲

九州支部：後藤浩二、山口富子

溶接技術普及賞

北海道支部：栗原 行

東北支部：高橋邦雄、浜津修弘

東部支部：木本 勇、平野賢治、福田俊二

東海支部：岩佐富雄、平松政美

関西支部：川辺了一

中国支部：山根正寛

四国支部：宮岡成光

九州支部：原田日出男、原田芳男

溶接学会優秀研究発表賞

平成26年度春季全国大会：伊與田宗慶、袁 倚旻、

小濱和之、Chun Eun Joon、

廣畑幹人、松本直幸

平成26年度秋季全国大会：衡 中皓、浄徳佳奈、竹崎 馨、

永塚公彬

溶接学会優秀ポスター発表賞

・鍋田 駿

・安田 優

・横田一輝

溶接学会シンポジウム賞

溶接構造シンポジウム2014

シンポジウム賞

・今井康仁、瀬古祐介、三津谷維基、長谷川俊永、

栗飯原周二

Mate 2015

Mate 2015優秀論文賞

・前嶋 聡、豊田かおり、那須 博

Mate 2015奨励賞

・坂元創一

・中澤恵理

溶接学会奨学賞

東北支部：佐々木夏未

東部支部：大山慶祐、倉部洋平、武藤優太

東海支部：太田 雄、神原 徹

関西支部：嶋岡敦史、鈴木健太、鈴木礼士、春名俊祐、

藤本智之、三村晃平

中国支部：置田大記

九州支部：王 文琴、津村秀一

⑨ 溶接学会フェロー認定（入会年順）

・和田洋二

・野瀬哲郎

⑩ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及びその活用状況報告

⑪ 感謝状贈呈

北陸支部殿（平成26年度秋季全国大会開催担当）

2. 理事会（定例6回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 平成26年度事業報告・決算

平成26年度事業報告・決算について承認した。また、公益目的支出計画の実施状況についても承認した。いずれも通常総会に諮ることとした。

(2) 学会組織運営

①平成28・29年度代議員選挙に関し、選挙管理委員会委員を指名し、代議員定数を決議した。

②平成27年度各賞授賞審査委員長を指名し、審査委員会構成について承認した。

③平成28年1月から施行される個人番号（マイナンバー）制度に対応するため、「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」、「特定個人情報取扱規程」の制定および「職員就業規則」の改訂を承認した。

④他機関・学協会の各賞および研究助成制度への推薦規定（内規）を承認した。

⑤11月19日付けで内閣府より「公益目的支出計画の実施完了の確認書」（平成27年2月28日を以て公益目的支出計画の実施が当初の計画どおり完了した証明書）が届いた。

(3) 学会活性化・効率化

①SIP「溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発」拠点溶接学会研究委員会分科会構想について、審議、承認し、平成27年度秋季全国大会で本件に関するオーガナイズセッションが開催された。

②全国大会運営委員会が起案した全国大会でのオーガナイズセッション開催について承認した。

③平成28年度春季全国大会は2016国際ウェルディングショー（大阪）と併催し、日本溶接協会、産報出版、溶接学会のコラボレーション企画として、第6回溶接連合講演会を開催することを承認した。

④Welding Lettersの平成28年4月創刊（受付開始）を踏まえ、関連する編集委員会規定、投稿規定の改定および具体的な手順について承認した

⑤平成27年度名誉員・特別員を推薦し、各賞受賞者について承認した。

(4) 研究委員会活動

①「アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象」ミニ研究会の平成27年度発足を承認した。

②「先進観察技術活用研究会」アドホック研究会を平成28年

68

会 報

- 1月から1年間の計画で発足することを承認した。
- ③「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会は平成27年度を以て廃止し、若手のグローバルネットワーク活動は平成28年度から若手会員の会に継承することを承認した。
- ④「溶接部腐食事例講習会」の公益社団法人腐食防食学会と一般社団法人溶接学会の共同開催に関する覚書について、審議、承認した。
- ⑤溶接疲労強度研究委員会が編集した新刊図書「溶接構造の疲労」について、産報出版と溶接学会で取り交わす出版契約書を承認した。
- ⑥Mate2016 シンポジウム開催、「Mate2016の共同開催に関する覚書」および溶接学会シンポジウム賞授賞について承認した。
- (5) 国際対応
- ①10th Trends in Welding Research Conference & 9WSの開催計画案、実行委員会組織について承認した。
- ②5th EAST-WJ (第5回日・中・韓ジョイントシンポジウム、平成27年9月2日～3日札幌開催)において、今後第3ラウンドについては、日本は止めたいとの意向を意思表示することを決議した。
- (6) 財務強化
- ①正員および賛助員の減少をリカバーするため理事会、企画委員会、支部長が中心となって「入会勧誘推進活動」を継続実施した。
- ②平成28年度から溶接教育委員会主催の講習会受講者に対して、初年度会費が無料で入会できる特典を与える会員増強キャンペーンを実施することを決議した。
- ③毎年、溶接学会誌10月号巻末会告に全賛助員の名簿を掲載しているが、これに加えて平成28年度から溶接学会誌4月号の巻頭に口数2口以上の賛助員については、「Special Thanks」として社名と事業内容を紹介することを決議した。
- (7) 平成28年度事業計画・予算
- 平成28年度事業計画・予算について承認した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会 (廣瀬明夫委員長)

年度内5回の委員会を開催し、「10年後の学会のあるべき姿ー溶接・接合分野の再定義と活動領域の拡充」を目標に、学会の再活性化のために、溶接学会のカバーする溶接・接合分野の再定義に基づいて活動領域の拡充と活動内容の刷新を図るために、以下の活動基盤強化アクションを展開した。

- (1) 将来ビジョン WG 活動
- 企画委員会の中に設置した将来ビジョンWGにおいて、10年後の学会のあるべき姿(溶接・接合分野の再定義と活動領域の拡充)を具体的にするために、学会がカバーする研究領域と産業分野の再定義・明確化、会勢分析と活動現況の再確認、日本溶接協会との関係、研究委員会活動、グローバル化、学会名称などについて検討し、企画委員会に答申を行った。平成27年度では、平成26年度の調査、検討結果に基づいて、理事会、部会、委員会、事務局への提言を行った。
- (2) 財務強化アクション
- 将来ビジョン WG からの提言に対応して、会員増強、賛助員メリットの明確化などに対して具体的な施策を検討して、実施することとした。
- (3) 情報化アクション
- 会員情報の管理の効率化とサービスの向上を可能とする新しい会員管理システムを導入した。また、溶接学会誌連載中の「溶接・接合教室ー実践編ー」の電子化と日本溶接協会溶接情報センターコンテンツへの登録を行った。
- (4) 研究推進アクション
- 将来ビジョンWGからの提言に対応して、学会活動領域拡充のために、3次元造形に関する分科会あるいは研究会設置に向けた検討を開始した。Mate2016(平成28年2月2,3日)を、スマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と、溶接学会マイクロ接合研究委員会との両主催で開催した。人材育成(産学連携・分野間横断交流等)の方向性に

関する意見を材料戦略企画委員会に提出した。SIP 拠点「溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発」と連携するため、SIP 溶接拠点分科会を設置した。

- (5) 教育関連アクション
- 本部主催の講習会として、溶接入門講座、溶接工学夏季大学に加えて、溶接工学専門講座を実施した。本年度は、第2回として高エネルギービーム加工研究委員会が企画した「ものづくり伝承講座ーレーザ溶接のすべてを知るー」を開催した。他学会と連携した講習会として、溶接学会「溶接冶金研究委員会」と腐食防食学会「プラント構成材料溶接部の腐食分科会」で「溶接部の腐食トラブル防止事例講習会」を共同開催した。支部教育活動支援のための講師人材バンクを設置することとし、各研究委員会に登録者の推薦を依頼することとなった。
- (6) 学会誌出版アクション
- 平成28年新年号に溶接学会90周年特集として前回75周年からの15年間のあゆみを掲載した。
- (7) 論文出版アクション
- 学会論文の魅力化と速報性の向上のため、査読期間を短縮した Express 論文を設けた。また、より速報性の高い Welding Letters (英文) を創設することとし(平成28年4月創刊)、投稿規定を決定した。
- (8) 全国大会アクション
- 平成27年春季全国大会より講演概要をデジタル化した。将来ビジョン WG からの提言に対応して、全国大会の講演分類の見直しを行った。また、学会活動の見える化のために、研究委員会などからの提案によるオーガナイズドセッションや他学協会との共催によるフォーラムの企画を実施した。
- (9) 若手活性化アクション
- 若手会員の会主催による研究会、見学会、他学会若手組織との合同シンポジウムなどの企画、開催を推進した。
- (10) 国際化アクション
- 第5回日中韓ジョイントシンポジウム (EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining) (平成27年9月2日～3日)が北海道科学大学で開催された。AWS と溶接学会の共催で、10th Trends in Welding Research Conference & 9WS を平成28年10月11日～14日に日本(東京・一橋講堂)で開催することとした。
- 3.2 溶接情報化委員会 (南二三吉委員長)
- 本会の情報化方針をふまえて、WG 打合せと E-mail 持ち回り協議を行い、本会の情報発信に関する以下の活動を実施した。一部は、日本溶接協会 (JWES) 溶接情報センターとの連携で行った。
- (1) 科学技術振興機構の総合学術電子ジャーナルサイト (J-STAGE) でのアーカイブ化コンテンツの公開: 本会の会誌、論文集、及び全国大会講演概要を、本会ホームページ (HP) から J-STAGE にリンクを張って以下のように公開中である。
- ・学会誌: 創刊号～第84巻第6号(2015年度末)までを J-STAGE にアップロードして公開している。ただし、発行3年以内の学会誌は会員限定公開で、非会員には非公開である。
 - ・論文集: 第1巻(1983年度)～第34巻1号(2015年度末)までを J-STAGE にアップロード済みで、一般公開している。
 - ・講演概要: 2003年度秋季大会～2015年度秋季大会までを J-STAGE にアップロード済みで、一般公開している。
- (2) 溶接接合教室 (実践編) の溶接情報センターでの公開: 本会HPから溶接情報センターにリンクを設け、「溶接接合教室 (基礎を学ぶ)」を一般公開している。さらに、学会誌に2011年から2014年まで連載された「溶接接合教室 (実践編)」も溶接情報センターにて公開中で、対象構造物・製品ごとに、設計から材料選定、溶接施工・製造プロセスに至る一貫したものづくりの流れをわかり易く、実践に則した教材としてまとめている。なお、発行後3年を経過しているかどうかによって、以下のように公開の仕方が異なる。
- ・発行3年を経過した記事: 一般公開
 - ・発行後3年未満の記事: 会員限定公開 (ここでいう会員

- とは、溶接学会員、日本溶接協会団体会員・個人会員)
- (3) 溶接学会便りの発行：会員向けのメール情報として、平成25年度より、溶接学会関連の動きならびに最新情報をE-mailで届ける「溶接学会便り」を発行している。原則、年に4回(3ヶ月毎)の発行予定で、平成27年度は、平成27年度春季全国大会用の臨時号を3月に、No.8を4月に、No.9を7月に、No.10を10月に、No.11を2016年1月に発信した。
 - (4) 会員専用「マイページ」の開設：平成27年7月に個人会員を対象とした会員マイページを新設し、HPからのログインを通して、以下のサービスができるよう便宜を図った。
 - ・学会の各種イベントの案内
 - ・会員情報の確認、住所や所属の変更
 - ・会費の支払い手続き、支払い状況の確認、会費領収書のダウンロード
 - ・J-STAGEを通した発行3年以内の学会誌の閲覧
 - ・日本溶接協会(JWES)溶接情報センターとの連携により、溶接技術教育シート、溶接・接合技術入門e-Book、抵抗スポット溶接テキスト、溶接接合教室などのコンテンツ閲覧
 - (5) HP管理：本会HPのトップページの一部改定、新規コンテンツのアップロード、既存コンテンツの整備などを行った。

3.3 編集委員会(佐藤嘉洋委員長)

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、下記に示す7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。平成28年新年号には、溶接学会90周年特集として前回75周年からの15年間のあゆみを掲載した。

「現場溶接の最前線」

「マイクロ接合技術の新展開」

「アーク溶接の制御技術」

「溶接・接合をめぐる最近の動向」

「高強度鋼板のスポット溶接を取り巻く最新技術動向」

「自動車の車体軽量化」

「レビュー&トレンド：摩擦攪拌接合(FSW)」

「溶接学会90周年を迎えて－日本の溶接接合技術の国際競争力とグローバル人材育成－」

また、溶接接合教室－専門編－の新連載を開始した。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター113名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、平成27年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告をVol.4, No.5に掲載した。アンケート結果も考慮して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者3件を選考した。

科学技術情報発信・流通総合システム(J-stage)にて、溶接学会誌は創刊号からを対象として、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から一般公開した。英文誌STWJ(Science and Technology of Welding and Joining)の共同編集に引き続き参加した。

3.4 論文査読・審査委員会(山根 敏委員長)

平成27年9月7日(金)に大阪大学接合科学研究所で全委員が集まる定例委員会を開催した。全国大会での推薦された論文を、査読者が査読を引き受けた後、5営業日で査読を行うExpress査読が始まっていることが確認され、この進捗状況の報告があった。また、英文誌STWJ(Science and Technology of Welding and Joining)の共同編集とSTWJ-JWS collaboration 推薦投稿を継続している。STWJとの関係を明確にするために契約についての内容を確認した。この結果、査読委員会が推薦した論文を、日本のSTWJ委員がSTWJへの投稿を推薦するかどうかの判断を行うことになった。最終的にはSTWJ編集委員が採用するかどうかの判断を行うことが確認された。これに対応するために、投稿論文フォームを変更することが確認された。また、研究のより迅速な公開および海外への情報発信を行うためのWelding Lettersの査読方法などについて検討も行き、論文投稿フォームをウェブ上で作成できるようにすることの確認を行った。

平成18年ウェブ査読開始当初は投稿論文査読期間が著しく短縮されたが、最近はいちものもみられ、平均も少し長くなる傾向がみられており、改善を行うために、投稿から査読審査結果を得

るまでの郵送手続きをすべて廃止し、すべてウェブ上で行えるように査読システムの大幅な改善が行われた。平成27年度は投稿原稿の受付から登載決定までの平均日数は90日程度であり、掲載までは平均で150日程度である。

3.5 全国大会運営委員会(田中 学委員長)

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成27年度春季・秋季全国大会および平成28年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第96集および第97集を編集発行した。
- (3) 平成27年度秋季および平成28年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 平成27年度春季および秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀研究発表賞」、ならびに平成27年度秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀ポスター発表賞」の審査を実施した。
- (5) 優秀な口頭発表に対する「エクスプレス」投稿の無料特典者の推薦制度について、平成27年度春季および秋季全国大会を合わせて8件の推薦を決定した。これに伴い、学会事務局より該当者へ推薦の通知を行うとともに、「エクスプレス」投稿の特典(1年間有効)を贈呈した。
- (6) 平成27年度春季全国大会から講演概要集のデジタル化を開始した。また、それに伴い、春季および秋季全国大会ともに大会期間中、サポートデスクを設置し、全国大会参加者に対してデジタル講演概要集のダウンロード方法等のサポートサービスを実施した。
- (7) 平成27年度秋季全国大会からオーガナイズドセッションを新たに設けた。溶接学会の枠を飛び越えて他学協会等との連携を通じ、溶接・接合技術やその周辺技術、溶接・接合の未来を切り拓く新しい研究分野、大型研究プロジェクトの紹介など、オーガナイザーが自由な発想に基づくテーマでセッション設定することを可能にした。
- (8) 平成28年度春季全国大会からの講演登録時の分野分類方法を全面的に改定した。最近の研究開発トレンドに即した分類項目を設定・細分化することで全国大会のセッション構成および講演仕分けをより適切に行えるように工夫した。
- (9) 溶接学会における学術情報の新たな発信機能として「Welding Letters」の創刊を目指し、編集委員会および論文査読・審査委員会と連携しながら、平成28年度創刊を企画委員会および理事会に提案した。

3.6 溶接教育委員会(小川和博委員長)

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成27年度溶接入門講座を2回開催した。(前掲)
- (3) 平成27年度溶接工学夏季大学を1回開催した。(前掲)
- (4) 平成27年度溶接工学専門講座を1回開催した。(前掲)
- (5) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (6) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会(IIW)溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE 22名、IWT 2名、IWS 14名がディプロマ資格を取得した。
- (7) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW特認コースWGを通してアナウンスした。
- (8) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関(大学・高専・工業高校)の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所のIIW-ATB活動の支援を行った。その結果、IWE8名が最終筆記試験に合格し、ディプロマ資格を取得した。

3.7 国際交流委員会(小関敏彦委員長)

- (1) 日本溶接会議(JIW)の活動を通じ、国際溶接学会(IIW)の活動に参画した。(年次大会：H27/6/28-7/3、フィンランド・ヘルシンキ)年次大会は54カ国から885名の参加者があり、盛況であった。
- (2) 第5回の日本、中国、韓国3ヶ国ジョイントシンポジウム(EAST-WJ, The 5th East Asia Symposium on Technology of

Welding and Joining) が札幌・北海道科学大学で溶接学会
秋季全国大会中H27/9/2-3に開催された。

- (3) 国際会議「10th International Conference on Trends in
Welding Research & 9WS」を AWS (American Welding
Society) と平成28年10月11～14日、一橋講堂 (東京) にて
共同開催することとなり、実行委員会を発足し、鋭意準備
を進めた。

4. 若手会員の会 (門井浩太委員長)

4.1 若手会員のためのフォーラム

- (1) 春季全国大会イブニングフォーラム
主 題：学協会における若手活動とトレンド
講 演：濱崎洋氏 (広島大学、日本鉄鋼協会)、
西田進一氏 (群馬大学、軽金属学会)、
門井浩太 (広島大学)
日 時：平成27年 4 月23日 (木) 17：00～18：55
場 所：学術総合センター 2 階 一橋大学 一橋講堂
中会議場 2 (春季全国大会開催会場)
参加者：29名

- (2) 秋季全国大会ポスターセッション運営協力
日 時：平成27年 9 月 3 日 (木) 16：00～18：00
場 所：北海道科学大学 5 号館 1 階ホール
発表件数：54件 (ポスターのみ22件)
参加者：約120名程度

4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) シンポジウム「若手研究者・技術者講演会 ～金属材料加工
シンポジウム～」(日本鉄鋼協会創形創質部会 若手フォ
ーラム、軽金属学会 若手の会との共催)
日 時：平成27年 6 月19日 (金) 10：30～16：10
場 所：高輪和強館
参加者：合計42名
講 演：各学会からそれぞれの学会・若手組織の活動紹
介と 3 件ずつの講演
溶接学会：岡野成威氏 (大阪大学)、高嶋康人氏 (大阪大
学)、門井浩太 (広島大学)
日本鉄鋼協会：濱崎洋氏 (広島大学)、梶野智史氏 (産業技
術総合研究所)、吉田健吾氏 (静岡大学)
軽金属学会：西田進一氏 (群馬大学)、芹澤愛氏 (芝浦工業
大学)、中西英貴氏 (株式会社 UACJ)

- (2) 研究会と施設見学会 (1 回目、四国支部と共催)
場 所：川田工業株式会社 四国工場
日 時：平成27年11月12、13日 (木、金)
参加者：32名(研究会、11月12日)、65名(見学会、11月13日)
講 演：小谷祐樹氏 (川田工業株式会社)、西本浩司氏 (阿
南高専) 小濱和之氏 (大阪大学)、野村和史氏 (大
阪大学)
- (3) 研究会と施設見学会 (2 回目、九州支部若手グループと共催)
場 所：熊本大学 パルスパワー科学研究所
日 時：平成26年12月19日 (金)
参加者：28名
講 演：中野正大氏 (株式会社高田工業所)、中村賢治氏
(西日本工業大学)、藤井啓道氏 (東北大学)

4.3 若手会員のための勉強会 (WELNET 勉強会)

- (1) 第 1 回勉強会
日 時：平成27年 4 月24日 (金) 13：30～16：30
場 所：学術総合センター中会議場1
話題提供者：小椋智氏 (大阪大学)、藤井啓道氏 (東北大学)
出 席：9 名
- (2) 第 2 回勉強会
日 時：平成27年 9 月28日 (月) 13：00～16：00
場 所：大阪大学吹田キャンパス R2 棟 2 階 231号室
(会議室 A)
話題提供者：野村和史氏 (大阪大学)、三上欣希氏 (大阪大
学)
出席：10名
- (3) 第 3 回勉強会
日 時：平成27年11月12日 (木) 10：00～12：00
場 所：川田工業四国工場 会議室

話題提供者：尾崎仁志氏 (三重大学)
出 席：11名

4.4 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員
会、イブニングフォーラム、シンポジウムの報告等を掲載
した。
- (2) 溶接学会誌の「スポットライトー若手の特集記事ー」とし
て「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を 6 件、「じょう
ほう通」を 2 件、特集記事「アーク溶接の制御技術」を掲
載した。
- (3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。
- (4) メーリングリスト (E-mail) による情報交換を促進した。
有効登録者数約200名 (平成28年 2 月29日現在)
E-mail 投稿数約70通 (平成27年 3 月 1 日から平成28年 2 月
29日まで)

4.5 若手会員の会運営委員会

- 計 2 回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。
- (1) 第52回運営委員会
日 時：平成27年 4 月23日 (木) 12：00～13：00
場 所：学術総合センター 1 階 特別会議室101 (春季全
国大会開催会場)
出 席：17名 (委任19名)
- (2) 第53回運営委員会
日 時：平成27年 9 月 3 日 (木) 12：00～13：00
場 所：北海道科学大学 A 棟 4 階 会議室 A434 (秋季全
国大会開催会場)
出 席：25名 (委任15名)

5. その他の諸会合

支部長連絡会議 (理事会合同開催) 2 回

6. 会勢

会員数 (平成28年 2 月末現在)

賛助員		個人会員						団体会員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生会員	合計	員数	口数
346	806	33	73	10	2,357	228	2,701	29	29

Ⅲ 平成27年度支部報告

1. 北海道支部 (田沼吉伸支部長)

1. 事業

- 1.1 平成27年度溶接学会秋季全国大会北海道大会
日 時：平成27年 9 月 2 日 (水) ～ 4 日 (金)
場 所：北海道科学大学 (札幌市手稲区)
支部主催行事
1) 技術セッション：金属破損事例とその防止策
2) ワークショップ：溶接技術伝承のための人材確保の取組
3) 製品・カタログ展示

1.2 見学会

- 日 時：平成27年12月18日 (金) 13：30～15：30
場 所：株式会社 竹原鉄工所 (札幌市東区丘珠町)
参加者：20名
内 容：増築した工場を含む工場内溶接施工状況等の見学

2. 会務

- 2.1 平成27年度支部商議員会並びに支部総会
日 時：平成27年 3 月24日 (火) 14:10～15:00
場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室
議 事：1) 平成26年度事業報告・決算報告・監査報告
2) 平成27年度事業計画・収支予算
3) 平成27年度秋季全国大会 (北海道大会) について
- 2.2 各賞授賞審査および選考
平成27年度の各賞の審査および選考を書面審議により行った。
(1) 溶接学会溶接技術普及賞 1 名
(2) 溶接学会溶接技術奨励賞 1 名
(3) 溶接学会北海道支部学生奨学賞 1 名

2.3 表彰

- (1) 平成26年度溶接技術普及賞
日 時：平成27年 3 月24日 (火)
場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室

栗原 行 氏 (日鋼 MEC (株))

(2) 平成26年度溶接技術奨励賞

日 時：平成27年 3月24日 (火)

場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室

三浦 展義 氏 ((株) IHI 北海道支社)

(3) 平成26年度溶接学会北海道支部学生奨学賞

北海道大学大学院工学研究院 富田 花帆 君

平成26年 3月に賞状とメダルを推薦者に送付し、推薦者から、修了式時に表彰

(4) 平成27年度北海道地区溶接技術競技大会

日 時：平成27年 8月 7日 (金)

場 所：札幌全日空ホテル

(一社) 溶接学会北海道支部長賞

被覆アーク溶接の部

三浦 涼 氏 (北海道旅客鉄道 (株) 苗穂工場)

半自動アーク溶接の部

青山 章吾 氏 ((株) 安田鉄工所)

2.4 幹事会

第1回：平成27年 3月24日 (火) 13:00～14:00

場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室

第2回：平成27年 6月25日 (木) 15:30～16:10

場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室

2.5 平成27年度秋季全国大会北海道支部実行委員会

第2回：平成27年 3月24日 (火) 15:00～16:30

場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室

第3回：平成27年 6月25日 (木) 16:15～17:30

場 所：北海道科学大学 HIT プラザ特別室

2. 東北支部 (中村 満支部長)

1. 事業

1.1 第27回溶接・接合研究会 (溶接学会支部活動強化費による支援)

主 催：溶接学会 東北支部

日 時：平成27年 7月17日 (金) 13:00～17:30

会 場：第一会館 本館 (秋田市大町5-4-28)

参加者数：58名

(IIW履修ポイント：2.3 pt (M1: 0.85 pt, M2: 1.15 pt, M4: 0.3 pt), WESクレジットポイント：5ポイント認定)

特別講演 1件

(1) 「溶接・接合研究の潮流と私の40有余年の研究生活」

ー楽しかった思い出や苦しかった思い出 雑感紹介ー

岩手大学工学部 中村 満 氏

研究発表12件

(1) 建築鉄骨超音波探傷検査における現状と課題

溶接検査 (株) ○金谷 貴志

(2) 高 Mn オーステナイト球状黒鉛鑄鉄の加工硬化

北光金属工業 (株)

○千葉 雅則, 小宅 錬, 今 都志春, 大月 栄治

秋田県産業技術センター

進藤 亮悦, 香澤 圭一, 内田 富士夫

秋田大学 麻生 節夫

岩手大学 堀江 皓

(3) 気動車推進軸における非破壊検査実施に向けた一考察について

東日本旅客鉄道 (株) ○平泉 浩成, 宮城 正人

(4) マイクロファイバーレーザ溶接について

新潟三吉工業 (株) ○久保田 誠

新潟工科大 山崎 泰広

(5) 金属/微生物同時その場観察技術を利用したステンレス鋼溶接部の微生物腐食研究

秋田大学大学院工学資源学研究所 ○宮野 泰征

産業技術総合研究所 稲葉 知大

JFEテクノリサーチ (株) 篠田 修和

筑波大学大学院生命環境系 野村 暢彦

(6) 中炭素鋼 (S45C) 摩擦攪拌接合継手の組織と機械的特性に及ぼす入熱の影響

秋田大学大学院工学資源学研究所

○大久保 燎, 宮野 泰征, 神谷 修, 牧野 滉平

新日鉄住金 (株) 泰山 正則

大阪大学接合科学研究所 上路 林太郎, 藤井 英俊

(7) 鋳造を利用した炭素鋼と銅合金の異材接合

岩手大学大学院工学研究科 ○室田 大気

岩手大学工学部 水本 将之, 中村 満

(8) 端子接合部 Sn ウィスカの発生に及ぼす微細組織と環境の影響

秋田大学

○榊田 智実, 宮野 泰征, 高橋 護, 神谷 修

日本ケミコン (株) 久保内 達郎

(9) Al 合金と銅の超音波接合界面における酸化皮膜の挙動

東北大学大学院工学研究科

○遠藤 寛季, 藤井 啓道, 佐藤 裕, 粉川 博之

(10) コールドスプレー法による樹脂被膜の作製に及ぼす成膜条件の影響

岩手大学大学院工学研究科 ○佐々木 飛鳥

岩手県工業技術センター 園田 哲也, 桑嶋 孝幸

岩手大学工学部 中村 満

(11) 人工骨用アバタイト多孔質真空焼結体の開発

日本大学大学院工学研究科 ○佐々木 瞭

日本大学工学部 田村 賢一

(12) 304 ステンレス鋼ウェルドディケイ抑制への粒界制御の効果

東北大学大学院工学研究科

○錫田 駿, 池庄司 まり子, 嶋田 雅之, 粉川 博之,

佐藤 裕, 藤井 啓道

懇親会：第一会館 本館 (秋田市大町5-4-28)

1.2 平成27年度 溶接・接合技術 基礎セミナー (溶接学会支部活動強化費による支援)

主 催：溶接学会 東北支部

日 時：平成27年9月24日 (木) 13:30～17:30

平成27年9月25日 (金) 9:00～12:15

会 場：東北大学 工学部 材料科学総合学科 教育研究棟 2 階 講義室 3 (201号室)

(仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-02)

参加者数：24名

(IIW履修ポイント：3.6 pt (M1: 1.1 pt, M2: 0.7 pt, M3: 0.8 pt, M4: 1.0 pt), WESクレジットポイント：7ポイント認定)

一般講演 4件

(1) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性

東北大学大学院工学研究科 佐藤 裕 氏

(2) 溶接法および溶接機器

岩手大学 工学部 中村 満 氏

(3) 溶接構造の力学と設計

大阪大学 大学院工学研究科 大畑 充 氏

(4) 溶接施工・管理

三協コンサルタト (株) 山口 道雄 氏

2. 会務

2.1 第52回商議員会

日 時：平成27年 5月16日 (土) 11:00-

会 場：東北地区溶接技術検定委員会 会議室 (仙台市泉区明通4-5-5)

2.2 表彰

(1) 溶接技術奨励賞ならびに普及賞

表彰日：平成27年 5月16日 (土)

場 所：東北地区溶接技術検定委員会 会議室 (仙台市泉区明通4-5-5)

平成26年度溶接技術奨励賞：1名

平成26年度溶接技術普及賞：2名

(2) 溶接学会本部および東北支部奨学賞

報告日：平成27年 5月16日 (土)

場 所：東北地区溶接技術検定委員会 会議室 (仙台市泉区明通4-5-5)

平成26年度溶接学会奨学賞 (報告)：1名

平成26年度溶接学会東北支部奨学賞 (報告)：5名

表彰日：平成28年 1月29日 (金)

平成27年度溶接学会東北支部奨学賞：7名

- (3) 溶接・接合研究会 企業優秀発表賞および企業発表特別賞
報告日：平成27年5月16日（土）
場 所：東北地区溶接技術検定委員会 会議室（仙台市泉区
明通4-5-5）
第26回溶接・接合研究会 企業優秀発表賞（報告）：1名
第26回溶接・接合研究会 企業発表特別賞（報告）：3名
表彰日：平成27年7月17日（金）
場 所：第一会館 本館（秋田市大町5-4-28）
第27回溶接・接合研究会 企業優秀発表賞：1名
第27回溶接・接合研究会 企業発表特別賞：2名
- 2.3 総 会：商議員会議事録抜粋を支部会員に電子メール送信
もしくは郵送（平成27年6月10日付）

3. 東部支部（結城正弘支部長）

1. 事業

- 1.1 第43回 溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）
主 催：（社）溶接学会 東部支部
共 催：（社）溶接学会 東部支部・茨城地区委員会
協 賛：日本溶接協会，日本機械学会，日本金属学会，日本
材料学会，日本鉄鋼協会，日本鋼構造協会，日本ロ
ボット学会，ステンレス協会，軽金属溶接協会，日
本非破壊検査協会，腐食防食協会，日本溶接技術セ
ンター，日本工業出版，産報出版（順不同，含依頼中）
開催日時：平成27年10月30日（金）10:30～17:30
開催場所：コマツ（株式会社小松製作所）茨城工場
（〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂163-46）

参加者：16名

講演会：

1. 「同軸複層溶接ワイヤを用いたクリーン MIG 溶接による残
留応力の低減」
国立研究開発法人 物質・材料研究機構 物質・材料研究機
構 元素戦略材料センター 構造化グループ

中村 照美 氏

2. 「中厚板溶接における最近の高エネルギー・高品質施工法」
株式会社神戸製鋼所 溶接事業部門 技術センター

小川 亮 氏

3. 「鉤山機械の溶接工程とその能率向上事例紹介」
株式会社小松製作所 茨城工場 松本 泰一 氏
見学会：株式会社小松製作所 茨城工場

1.2 地区講演会・講習会など

- (1) 東京地区（地区委員長：須田 一師（日鐵住金溶接工業））

主 題：第17回「溶接の研究」講習会

主 催：（社）日本溶接協会

後 援：（社）溶接学会 東部支部他

開催日：平成27年12月7日（月）10:00～16:40

開催場所：日本溶接協会 溶接会館2階会館ホール

参加者：約40名

講演題目（講師）

1. 国内外溶接材料規格の状況（調査第1分科会 今岡 進氏）
2. 業種別に見た接合技術の現状と将来に関する調査（調査第2
分科会 栢森 雄巳氏）
3. 鋼溶接部の拡散性水素量測定方法/高温抽出法について（共
研第3分科会 近藤 優氏）
4. y形溶接割れ試験方法のJIS改正内容（共研第5分科会 鈴木
励一氏）
5. 最近のアーカ溶接機器の動向（ダイヘン 恵良 哲生氏）
6. アディティブ・マニファクチャリングと溶接・接合（大阪大
学 桐原 聡秀氏）

- (2) 神奈川地区（地区委員長：幸村 正晴（神戸製鋼所））
本年度は実施せず。

- (3) 千葉地区（地区委員長：加藤数良（日本大学））

溶接技術講習会「溶接・溶断の歴史的技術変遷と現状について」

主 催：（社）千葉県溶接協会

共 済：（社）溶接学会 東部支部

開催日：平成27年3月20日（金）9:30～15:45

開催場所：千葉県産業支援技術研究所 天台庁舎

参加者：約47名

講演題目（講師）

1. 溶接材料・施工法の技術変遷について

（株）神戸製鋼所 溶接事業部門 営業部営業企画室課長
原田和幸

2. アーク溶接機の技術変遷

ダイヘン溶接メカトロニクス（株）溶接機営業本部技術営業
部 三田常夫

3. 鉄骨・橋梁製作の技術変遷について

（株）駒井ハルテック 富津工場技術部技術課長 吉村哲也

4. 溶断の技術変遷について

日酸 TANAKA（株）生産・技術本部開発部 石井幸二

- (4) 埼玉地区（地区委員長：金子 裕良（埼玉大学））

平成27年度溶接学会東部支部 溶接・接合研究交流会を
共催。

- (5) 群馬地区（地区委員長：楠元一臣（群馬大学））

平成27年度溶接学会東部支部 溶接・接合研究交流会を
主催

開催日：平成27年10月15日（木），16日（金）

開催場所：伊香保温泉 HOTEL 天坊

参加者：12名

- (6) 栃木地区（地区委員長：中島章典（宇都宮大学））

本年度は実施せず。

- (7) 茨城地区（地区委員長：中村 照美（物質・材料研究機構））

第43回 溶接学会東部支部実用溶接講座 を共催。

- (8) 山梨地区（地区委員長：宮川和幸（山梨県工業技術センター））

本年度は実施せず。

- (9) 長野地区（地区委員長：中込忠男（信州大学））

長野地区講演会

主 催：（社）溶接学会 東部支部（長野地区）

開催日時：平成27年9月17日（木）13:30 ～ 16:30

開催場所：長野市若里1-1-3ホクト文化ホール（長野県県民文
化会館）3階 第二会議室

参加者：66名

講演題目： 司会：株式会社角藤 石田 常夫

1. 「設計方法について」元日本溶接構造専門学校校長 岡本晴仁

2. 「ロボット溶接の最新技術」株式会社神戸製鋼所 松村浩史

3. 「NBF工法に関する実験」元JFEスチール株式会社 石村博

4. 「25°開先斜め加力の実大破壊実験」国立大学法人信州大学名
誉教授 中込忠男

5. 総合討論：国立大学法人信州大学教授 金子洋文

- (10) 新潟地区（地区委員長：宮下幸雄（長岡技術科学大学））
新潟地区講演会を主催。

平成27年度溶接学会東部支部 溶接・接合研究交流会を
共催。

2. 会務報告

2.1 平成27年度支部通常総会

（第177回溶接学会東部支部常任幹事・地区委員長会議と合同
開催）

開催日時：平成27年5月20日（水）15:00～16:45

開催場所：第7東ビル 103号室

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9

議 題：1) 平成26年度 事業報告および会務報告

2) 平成26年度 収支決算報告

3) 平成26年度 監査報告

4) 平成27年度 事業計画

5) 平成27年度 収支予算

6) 平成27年度 実用溶接講座の件

7) 平成26年度 溶接技術奨励賞，溶接技術普及賞の
受賞者紹介

8) 平成26年度 溶接技術奨励賞，溶接技術普及賞の
表彰式

2.2 常任幹事・地区委員長会議

第177回 平成27年5月20日（水）15:00～16:45 第7東ビル
（平成27年度通常総会と合同開催）

第178回 平成27年8月25日（火）15:00～17:00 中小企業振
興公社 秋葉原庁舎

第179回 平成27年12月18日（金）15:00～17:00 第7東ビル

第180回 平成28年1月29日（金）14:00～17:00 TKP スター

貸会議室 秋葉原

2.3 各賞受賞審査委員会

平成27年度 溶接学会 東部支部 各賞審査委員会を下記のように組織し、書面審査した。

審査委員会：結城委員長，安田委員，宮下委員，中村委員，生宗委員（5名）

審査期間：平成28年1月25日（月）～1月28日（木）

審査結果報告：平成28年1月29日（木）

審査の結果，平成27年度各賞候補者をそれぞれ下記の各氏（敬称略）にすることを決定した。

【溶接技術奨励賞】

松本 泰一 氏 コマツ
山本 光 氏 日立建機（株）

【溶接技術普及賞】

矢野 徳仁 氏 山梨県立韮崎工業高等学校
熊谷 英一 氏 （株）神戸製鋼所

【溶接学会奨学賞】

寺井 克 氏 日本大学大学院 生産工学研究科
博士前期課程 機械工学専攻 2年
内山 学 氏 群馬大学大学院 理工学府 理工
工学専攻 知能機械創製理工学教育
プログラム 2年次

2.4 表彰

1) 平成26年度 溶接技術奨励賞，溶接技術普及賞の表彰

平成27年5月20日（水）（於：第7東ビル）

平成27年度通常総会にて受賞式を行い，下記受賞者を表彰した。
受賞祝賀会：秋葉原周辺にて実施した。

【溶接学術振興賞】

加藤 数良 氏 日本大学

【溶接技術奨励賞】

山下 賢 氏 （株）神戸製鋼所
金子 裕良 氏 埼玉大学
武市 祥司 氏 金沢工業大学

【溶接技術普及賞】

木本 勇 氏 日鐵住金溶接工業（株）
福田 俊二 氏 群馬県工業技術センター
平野 賢治 氏 （株）IHI

2) 平成26年度溶接学会奨学賞の表彰

平成27年3月楯を推薦者に送付し，推薦者から下記受賞者に楯を授与して表彰した。

【溶接学会奨学賞】

大山 慶祐 氏 早稲田大学 基幹理工学研究科機械科
工学専攻 修士課程1年
武藤 優太 氏 埼玉大学大学院 理工学研究科数理電
子情報系専攻 博士前期課程2年
倉部 洋平 氏 長岡技術科学大学大学院 材料工学専
攻 博士後期課程3年

4. 東海支部（鈴木 実平支部長）

1. 事業報告

1.1 溶接研究会，講習会など

(1) 溶接研究会

第83回 平成27年10月15日（木）13：15～17：00

場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室 45名

テーマ：異材接合

「摩擦重ね接合によるアルミニウム合金と樹脂材料の直接接合に及ぼすアルマイト皮膜の影響」

UACJ 技術開発研究所 岡田俊哉氏

「アルミニウム×チタン，アルミニウム×マグネシウムの溶接技術」

軽金属溶接協会 榎本正敏氏

「PMS処理とポジティブアンカー効果による金属-プラスチックの直接接合技術」

輝創（株）前田知宏氏

「レーザロール溶接による異種金属接合に関する研究」

三重大学大学院 工学研究科 尾崎仁志氏

第84回 平成27年10月29日（木）13：20～16：40

場 所：愛知県産業労働センターウィンクあいち10F 1003
会議室 31名

テーマ：溶接・溶射における可視化技術

「非軸対称溶接アークの三次元分光計測」

大阪大学大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻
野村 和史氏

「高輝度X線透過システムを用いた摩擦攪拌接合における欠陥形成機構の解明」

大阪大学接合科学研究所 森貞 好昭氏

「溶射/コールドスプレーにおける粒子速度計測技術」

スタータック（株）成田 章氏

「溶射における可視化技術」

産業技術総合研究所 篠田 健太郎氏

(2) 講習会

第21回 平成28年1月14日（木）9：25～16：50

場 所：名古屋市工業研究所 第1会議室 17名

「溶接法および溶接機器」

自動車部品溶接研究所 松井 仁志

「金属材料の溶接性ならびに溶接部の特性」

大同特殊鋼 上仲 明郎

「溶接構造の力学と設計」

岐阜大学 植松 美彦

「溶接施工・管理」

IHI 大賀 進

2.1 平成27年度支部総会及び特別講演

日 時：平成27年6月12日（金）15：00～16：35

場 所：ウイラあいち 愛知県女性総合センター 第5会議室

議 事：1) 平成26年度事業報告及び決算報告

2) 平成26年度溶接学会技術賞支部授賞式：

溶接技術奨励賞受賞者：佐藤 広明氏

溶接技術普及賞受賞者：岩佐 富雄氏

溶接技術普及賞受賞者：平松 政美氏

3) 平成27年度事業計画案及び平成27年度予算案の審議
特別講演：「溶接営業マン」 進和 森岡 達哉氏

2.2 支部商議員会

第1回商議員会 平成27年6月21日（金）於：ウイラあいち

3. その他

3.1 協賛行事

1) 日本溶接技術センター・愛知県溶接協会 抵抗溶接実務教育訓練講習会

平成27年6月25日～26日，平成27年11月19日～20日

5. 北陸支部（富田正吾支部長）

1. 事業

1.1 講演会

(1) 特別講演会1「レーザ応用加工技術」（レーザクリーニング加工技術）

開催日：平成27年4月17日（金）14：00～16：00

会 場：福井県工業技術センター

（福井市川合鷺塚町61字北福田10）

共催者：福井県工業技術センター

参加者：18名

内 容：（講演）「レーザクリーニング技術の現状と今後の課題」

（株）IHI 検査計測 機器装置事業部 次長 大脇 桂 氏

（実演）可搬型レーザクリーニング加工機による加工実演

(2) 特別講演会2

開催日：平成27年12月16日（水）14：00～15：00

会 場：富山県工業技術センター 技術開発館ホール

（富山県高岡市二上町150）

共催者：富山県溶接協会，富山県工業技術センター

参加者：32名

内 容：（演題）「摩擦攪拌接合の塑性流動と接合メカニズム」

富山大学大学院工学研究科 柴柳 敏哉氏

(3) 研究発表会

開催日：平成27年12月16日（水）14：00～15：00

会 場：富山県工業技術センター 技術開発館ホール

- (富山県高岡市二上町150)
- 発表1「A6N01 アルミニウム合金と AZX611 マグネシウム合金の摩擦撹拌接合の検討」
富山大学大学院 工学研究科 修士課程 (2年)
佐藤 智 君
- 発表2「摩擦撹拌接合における Kissing Bond 形成機構の検討」
富山大学大学院 工学研究科 修士課程 (1年)
渡辺 明誉 君
- 発表3「透明作動流体による摩擦撹拌スポット接合における塑性流動の可視化」
富山大学大学院 工学研究科 修士課程 (1年)
瀬尾 壮宏 君
- 発表4「超音波フェーズドアレイ法による摩擦撹拌接合部の非破壊検査技術の確立」
富山大学大学院 工学研究科 修士課程 (1年)
井上 克浩 君

表彰式：最優秀研究発表賞 1名，優秀研究発表賞 3名

2. 会務

幹事会・商議員会

(1) 第1回幹事会・商議員会

日 時：平成27年12月16日 (水) 12:00~13:40

場 所：富山県工業技術センター 中央研究所 第1会議室
(富山県高岡市二上町150)

参加者：8名

議 事：平成26年度事業及び決算報告
平成27年度事業経過報告及び会計経過報告
支部長会議報告
支部研究発表表彰について
特別講演及び研究発表について
その他

(2) 第2回幹事会・商議員会

日 時：平成28年2月23日 (火) 12:30~14:30

場 所：富山県工業技術センター 中央研究所 第1会議室
(富山県高岡市二上町150)

参加者：7名

議 事：平成27年度事業及び会計報告
平成28年度事業計画 (案) 及予算 (案)
平成26年度秋季全国大会実行委員会会計報告
平成28, 29年度支部役員 (案) について
その他

6. 関西支部 (北側彰一支部長)

1. 事業

1.1 平成27年度技術交流会 特別講演

日 時：平成27年5月29日 (金) 16:30~17:00

場 所：ホテルプラザオーサカ (大阪)

出席者：22名

講演件数：1件

・熱プラズマシミュレーションの最前線
(大阪大学接合科学研究所 茂田正哉氏)

1.2 平成26年度支部表彰授与式

日 時：平成27年5月29日 (金) 16:30~17:00

場 所：ホテルプラザオーサカ (大阪)

【溶接技術奨励賞】

ポニー工業株式会社 横野泰和 氏

(株)クロセ 葛西省五 氏

住友精密工業 (株) 高祖正志 氏

【溶接技術普及賞】

大阪大学 川辺 了一 氏

1.3 平成27年度講演・見学会

日 時：平成27年10月30日 (金) 13:20~16:50

場 所：コマツ 大阪工場 生産技術開発センタ

参加者：47名

講演件数：2件

・建機の溶接
(コマツ生産技術開発センタ 山中伸好氏)
・建機溶接ロボットのつながる化

(コマツ生産技術開発センタ 岸本祐輝氏)

工場見学：大阪工場 生産技術開発センタ

2. 会務

2.1 幹事会

日 時：平成27年5月29日 (金) 15:00~16:30

場 所：ホテルプラザオーサカ (大阪)

出席者：22名

議 事：

- (1) 平成26年度幹事会議事録の件
- (2) 平成26年度活動報告の件
- (3) 平成26年度支部決算報告の件
- (4) 監査報告
- (5) 平成26・27年度支部役員体制の件
- (6) 平成27年度活動計画
- (7) 講演・工場見学会の件
- (8) 平成27年度予算案

7. 中国支部 (小林敏郎支部長)

1. 事業

1.1 講演会および講習会

1.1.1 講演会 (後援事業)

(1) 開催日時：平成27年6月10日 (水) 9時00分~17時00分

(2) 場 所：ホテル広島ガーデンパレス

(3) 参加者：140名

(4) 講演題目 (講師)

広島大学革新的ものづくり研究拠点設立セミナー

「高機能難加工材の製造・先端加工システム開発による革新的ものづくり研究拠点」の役割

(a) 研究拠点の紹介 (広島大学 篠崎賢二)

(b) 溶接・接合 (広島大学 山本元道, 菅田淳, 磯本良則)

(c) 切削・切断加工 (広島大学 山田啓司)

(d) 塑性加工 (広島大学 日野隆太郎)

(e) 積層造形 (広島大学 鈴木裕之)

(f) 材料創製 (広島大学 松木一弘, 佐々木元)

(g) 表面改質・表面処理 (広島大学 加藤昌彦, 真鍋幸男)

(h) 広島大学の産学官金連携の取り組みと事例 (広島大学 橋本律男)

(i) 大学の研究シーズを活用した産学官連携と地方公設試
(広島県西部工業技術センター：坂元康泰)

(j) 経済産業省補助金プロジェクトの紹介 (中国経済産業局：大河原康正)

1.1.2 特別講演会1

(1) 開催日時：7月23日 (木) 12:50~14:20

(2) 場 所：広島大学工学部講義棟B-108

(3) 出席者：80名

(4) 講演題目および講師

題 目：Metallurgical Issues in Welding HSLA Steels

講 師：Prof. Ernesto Indacochea (米国 イリノイ大学シカゴ校工学部)

1.1.3 特別講演会2

(1) 開催日時：7月31日 (金) 12:50~14:20

(2) 場 所：広島大学工学部講義棟B-109

(3) 出席者：80名

(4) 講演題目および講師

題 目：Application of phase transformation to steel development and welding

講師：李 鍾鳳 (韓国 浦項工科大学大学院教授)

1.1.4 特別セミナー (共催事業)

(1) 開催日時：平成27年8月20日 (水) 13時30分~18時30分

(2) 場 所：広島大学大学院工学研究科

(3) 出席者：70名

(4) 講演題目 (講師)

広島大学革新的ものづくり研究拠点「溶接・接合部会セミナー」

「レーザ加工技術の基礎および最近のレーザ機器・レーザ加工技術」

(a) レーザ溶接の基礎 (大阪大学 川人洋介)

(b) ホットワイヤ・レーザ溶接による荷重非伝達型隅肉

- 溶接継手の疲労特性評価（広島大学 曙 紘之）
- (c) 薄板のレーザ溶接技術（広島県総合技術研究所 門格史）
- (d) 自動車部品へのレーザ溶接適用（（株）キーレックス 田川 諭）
- (e) レーザ溶接中のモニタリング技術（広島大学 山本元道）

1.1.5 平成27年度溶接技術講習会

（平成27年度溶接入門講座：本部主催溶接学会定期講座の広島開催）

- (1) 開催日時：平成27年11月12日～13日
- (2) 開催場所：県立広島大学 サテライトキャンパス広島
- (3) 出席者：37名
- (4) 講演題目（講師）
 - 第1日目
 - (a) 溶接機器と制御（ダイヘン溶接メカトロシステム（株）上園敏郎）
 - (b) 新しい溶接プロセスと原理（川崎重工業（株）藤本光生）
 - (c) 溶接設計入門（大阪大学 有持和茂）
 - (d) 溶接冶金入門（1）（（財）日本溶接技術センター 大北 茂）
 - 第2日目
 - (e) 溶接冶金入門（2）（（株）タセト 岡崎 司）
 - (f) 溶接部の試験・検査入門（（株）IHI 検査計測 荒川敬弘）
 - (g) 溶接施工管理入門（大阪大学 浅井 知）
 - (h) 溶接技術入門（（株）IHI 中西保正）

1.2 溶接接合工学学修会

1.2.1 平成27年度第1回溶接接合工学学修会（第13回）

- (1) 開催日時：平成27年6月2日（火）10時00分～16時40分
- (2) 場所：広島市工業技術センター
- (3) 出席者：31名
- (4) 講演題目（講師）
 - (a) 溶接構造物の損傷例（広島大学：山本元道）
 - (b) 溶接法および溶接機器（広島大学：山本元道）
 - (c) 溶接構造の力学と設計（近畿大学工学部：崎野良比呂）
 - (d) 講義内容：金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性（広島大学：山本元道）

1.2.2 平成27年度第2回溶接接合工学学修会（第14回）

- (1) 日時：平成28年1月22日
- (2) 開催場所：（地独）山口県産業技術センター
- (3) 出席者：36名
- (4) 講演題目（講師）
 - (a) 溶接法および溶接機器（広島大学：真鍋幸男）
 - (b) 溶接構造物の損傷例及び溶接構造の力学と設計（広島大学：山本元道）
 - (c) 金属材料と溶接性ならびに溶接部の特性（広島大学：山本元道）

1.3 研究会・見学会

1.3.1 平成27年度研究会・見学会

- (1) 日 時：平成27年9月7日
- (2) 開催場所：JFEスチール西日本製鉄所 倉敷地区
- (3) 出席者：21名

2. 会務

2.1 支部幹事会

- 1) 第1回（支部商議員会を同時開催）
 - 日 時：平成27年7月16日（木）18：30～20:30
 - 場 所：RCC文化センター
 - 議 題：
 - (1) 溶接技術講習会の件 [溶接入門講座（本部主催）]
 - (2) 溶接・接合工学学修会の件
 - (3) 研究会・見学会の件
 - (4) 特別講演会の件
 - (5) 支部長連絡会議の報告など
 - (6) その他
- 2) 第2回（支部商議員会を同時開催）
 - 日 時：平成28年3月24日（木）13：00～15：00
 - 場 所：ホテルJALシティ広島
 - 議 題：
 - (1) 平成27年度事業報告

- (2) 平成27年度決算報告
- (3) 平成28年度事業計画
- (4) 平成28年度収支予算
- (5) 平成27年度表彰報告
- (6) 平成28年度支部体制
- (7) 溶接技術講習会の件
- (8) 研究会・見学会の件
- (9) 溶接接合工学学修会の件
- (10) その他

2.2 平成27年度支部総会

日 時：平成28年3月24日（木）15：00～18：30

場 所：ホテルJALシティ広島

議 題：

- (1) 平成27年度事業報告
- (2) 平成27年度決算報告
- (3) 平成28年度事業計画
- (4) 平成28年度収支予算
- (5) 平成27年度表彰報告
- (6) 平成28年度支部体制
- (7) その他

受賞記念講演

近畿大学 工学部 崎野 良比呂 氏

特別講演

岡山理科大学 理学部 教授 平岡 裕 氏（前 溶接学会中国支部長）

8. 四国支部（小原昌弘支部長）

1 事業

1.1 第20回材料関連学協会支部・研究会連合講演会

主 催：溶接学会四国支部

共 催：高温学会四国支部，日本溶射協会中国四国支部，四国地方非破壊検査研究会

高知県溶接・レーザ研究会，日本材料学会四国支部

日 時：平成27年3月10日（木）10：30～17：00

場 所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

発表件数：18件

参加者：60名

1.2 第25回溶接技術実用講座（川田工業（株）四国工場見学会を含む）

①「摩擦撹拌接合（FSW）技術とその応用例」

大阪大学 接合科学研究所 藤井英俊教授

②「溶接トラブル事例から見た現場での溶接施工管理」

愛媛大学 荒木孝雄 名誉教授

③「溶接部の非破壊試験の基礎と最新検査機器の適用事例」

住重試験検査株式会社 渡邊恒実 検査診断事業センター長

主 催：溶接学会四国支部

日 時：平成27年11月13日（金）

工場見学会 10：00～12：00

溶接技術実用講座 13：00～16：00

場 所：川田工業（株）四国工場

参加者：74名

1.3 刊行

出版物名：①第20回材料関連学協会支部・研究会連合講演会講演概要集

②第25回溶接技術講座 資料

2 会務

2.1 常任幹事，地区委員長会議

2.1.1 平成27年度第1回幹事会

日 時：平成27年3月10日（木）12：00～13：00

場 所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

参加者：18名

2.1.2 平成27年度第2回幹事会

日 時：平成27年11月13日（金）12：00～13：00

場 所：川田工業 四国工場

参加者：17名

9. 九州支部（西尾 一政支部長）

1. 事業

1.1 平成27年度 溶接学会九州支部研究発表会

主 催：溶接学会九州支部

日 時：平成27年 7月17日（金）9：30～16：00

場 所：九州工業大学 百周年中村記念館

参加者：37名

研究発表：16件（研究題目と研究者は下記の通り）

1）純チタンのYAG レーザによる表面改質法の検討

○北川 義大（九州工業大学 大学院生）

山口 富子（九州工業大学 工学研究院）

西尾 一政（西日本工業大学）

2）YAG レーザ溶融法によるTi-6Al-4V 合金へTi(C,N)/TiB 層の形成

○曾 鮮（九州工業大学 大学院生）

山口 富子（九州工業大学 工学研究院）

西尾 一政（西日本工業大学）

3）レーザ加熱援用による複合荷重下での抵抗スポット溶接継手強度向上

○北村 貴典（九州工業大学 工学研究院）

秋山 哲也（九州工業大学 工学研究院）

小野 哲士（九州工業大学 現 下村特殊精工(株)）

4）水管とフィンのすみ肉継手へのレーザ溶接適用の検討

○井上 智博（山九（株））

和田 洋二（山九（株））

山口 富子（九州工業大学 工学研究院）

西尾 一政（西日本工業大学）

5）入熱量を変化させたレーザフォーミングにおける変形に影響を与える因子の検討

○中島 来歩（九州工業大学 大学院生）

秋山 哲也（九州工業大学 工学研究院）

北村 貴典（九州工業大学 工学研究院）

長崎 光章（九州工業大学 現 三井ハイテック）

6）加熱順序が異なる場合のレーザフォーミングによるねじれ曲面成形の数値解析

○川辺 隆弘（九州工業大学 大学院生）

秋山 哲也（九州工業大学 工学研究院）

北村 貴典（九州工業大学 工学研究院）

片山 猛（九州工業大学 大学院）

倉本 洋彰（九州工業大学 現 日之出水道機器(株)）

7）縦収縮を利用した椀形-鞍形境界部曲面の成形方案の検討

○岸大 祐（九州工業大学 大学院生）

秋山 哲也（九州工業大学 工学研究院）

北村 貴典（九州工業大学 工学研究院）

尾山 貴大（九州工業大学 大学院）

8）レーザフォーミングによるねじれ曲面成形に及ぼす縦収縮の影響

○羽田 亮平（九州工業大学 大学院生）

秋山 哲也（九州工業大学 工学研究院）

北村 貴典（九州工業大学 工学研究院）

後藤 晃（九州工業大学 現 三井三池製作所）

9）高窒素ステンレス鋼のスタッド溶接部における継手性能評価（第二報）

○大和 史典（九州工業大学 大学院生）

中野 光一（九州工業大学 生命体工学研究科）

10）ニッケル合金におけるフラックスコールドアーク溶接の施工評価

○森田 智大（日立造船株式会社 機械事業本部）

安部 正光（日立造船株式会社 機械事業本部）

伊原 等（日立造船株式会社 機械事業本部）

11）半自動TIG溶接装置を用いた銅および銀の肉盛溶接施工条件の検討

○吉浪 貴明（日立造船株式会社 機械事業本部）

安部 正光（日立造船株式会社 機械事業本部）

伊原 等（日立造船株式会社 機械事業本部）

12）爆発圧着とその後の熱処理によるモリブデンのアルミナイド被覆

○吉永 聖矢（熊本大学 大学院生）

森園 靖浩（熊本大学 大学院 自然科学研究科）

連川 貞弘（熊本大学 大学院 自然科学研究科）

13）リングプロジェクション溶接における弾塑性接触・電流・熱伝導3連成解析

○二保 知也（九州工業大学 情報工学研究院）

二尾 浩樹（九州工業大学 飯塚キャンパス技術部）

堀江 知義（九州工業大学 情報工学研究院）

森木 信一（清水製作所宮崎）

北原 実（清水製作所宮崎）

高橋 明宏（都城工業高等専門学校 機械工学科）

山元 直行（都城工業高等専門学校）

高橋 保雄（宮崎県産業振興機構）

14）重畳応力履歴下における疲労亀裂発生挙動に関する一検討

○清水 啓司（九州大学 大学院生）

村上 幸治（九州大学 大学院工学府）

後藤 浩二（九州大学 大学院 工学研究院）

15）強度と伸びが異なる鋼材の疲労亀裂伝播特性とその評価

○宮崎 大地（長崎大学 大学院生）

勝田 順一（長崎大学 大学院 工学研究科）

16）労働災害防止のための前頭前皮質の状況認知に関する調査

○田邊 諒磨（長崎大学 大学院生）

勝田 順一（長崎大学 大学院 工学研究科）

1.2 溶接研究会

テーマ：未踏接合技術の開発・実用化

日 時：平成27年11月 9日（月）13：30～17：00

場 所：熊本大学

出席者：35名

特別講演 1件，講演 2件

1.3 工場見学会

日 時：平成27年12月 2日（水）14：30～17：00

場 所：日産自動車九州（福岡県京都郡苅田町）

出席者：13名

1.4 第3回地域ネットワーク形成講演会・見学会

主 催：溶接学会 マイクロ接合研究委員会

共 催：鹿児島県工業技術センター，溶接学会九州支部

日 時：平成27年12月 7日（月）

場 所：鹿児島県工業技術センター

出席者 63名

1.5 若手研究グループ研究会・見学会

主 催：溶接学会九州支部（若手会員の会運営委員会との共催行事として実施）

日 時：平成27年12月11日（金）13：00～17：00

場 所：三菱重工業（株）下関造船所（下関市彦島江の浦町）

参加者：25名

講演 4件，見学会：三菱重工業（株）下関造船所 江浦工場

1.6 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第12号

2. 会務

2.1 平成27年度 商議員会

日 時：27年 7月17日（金）12：00～13：00

場 所：九州工業大学 百周年中村記念館

出席者：18名（他に委任状提出者 8名）

2.2 表彰

商議員の書面審議にて，以下の表彰を審議

平成27年度本部溶接学会学術振興賞（推薦）：1名

平成27年度本部溶接学会技術奨励賞（推薦）：2名

平成27年度本部溶接学会技術普及賞（推薦）：2名

平成27年度本部溶接学会奨学賞（推薦）：2名

平成27年度九州支部奨学賞：2名

2.3 平成27年度 通常総会

日 時：平成27年 7月17日（金）13：00～13：30

会 場：九州工業大学 百周年中村記念館

出席者：37名